

広告

「あい風と人間が輝く活力のまち・石狩」の実現に向けて

第4期石狩市総合計画 スタート！

合併により著しい変ぼうを遂げた新生石狩市。

まちには、石狩湾新港や豊かな自然環境、地域資源、そして先人たちが築き上げてきた歴史や文化など貴重な地域財産がたくさんあります。それらを市民・企業・市役所の協働により一層輝かせ、独自の存在感を持ったまちへと育て上げるため、新生石狩市の新たなまちづくりの指針として、第4期石狩市総合計画がスタートします。

総合計画とは

総合計画は、これからの石狩市のまちづくりを長期的な見通しに立つて進めるための指針になるものです。

第4期石狩市総合計画は、まちの将来像と施策の方向などを示す「基本構想」と、具体的な施策、市民や市役所の協働の指針、施策の目標値などを示す「戦略計画」からなり、期間は平成19年度から28年度までの10年間としています。

どのように作成されたのか

計画作成にあたっては、子どもたちの未来の石狩に対する夢や希望、各種団体との懇談会、市民説明会、パブリックコメントなどにより、市民の皆さんの意見を取り入れながら、総合計

画策定審議会で検討されました。

また、基本構想は18年第4回石狩市議会定例会に提案し、19年第1回石狩市議会定例会で可決されています。

総合計画策定の視点

石狩市を取り巻く環境は大きく変化しています。

- 本格的な地方分権時代の到来
- 人口増加の終わり
- 危機的な財政状況

このような環境の変化に、適切・柔軟に対応し、市民の皆さんにとって住みよいまちづくりを共に進め、魅力あふれる石狩市を、目標を持って創り上げていくことが必要です。

これまでの総合計画は、財政の規模が拡大することを前提として、必要な事業を盛り込みましたが、

今回策定した総合計画は、本市を取り巻く環境の変化を踏まえて「選択と集中」「持続的・自立的な地域経営」「協働」「成果志向」などの視点から策定しました。

これまでの総合計画

財政の規模が拡大することを前提に、必要な事業を盛り込む

第4期石狩市総合計画

- 「選択と集中」の視点
優先度の高いものに行政資源を集中
- 持続的・自立的な地域経営の視点
財政再建により恒常的な赤字体質から脱却
- 協働の視点
市民や企業、市役所などの役割分担を明確化
- 成果志向の視点
施策の目標を数値で示し、達成状況をチェック

【総人口および年齢階層別人口の推計】

